

俳ソサエティ「春季井の頭公園吟行」結果と寸評 (2024-4-19金 10:30am~4:30pm)

番号	作 品	作者	得 点			寸 評
			天	選	点	
1	春眠やスワンの二人こぎもせず	明陽			0	
2	春深し斜面を染め草の黄	恵寿			0	「中七」の字足らずに必然性なし。
3	春昼寝それぞれ座のあるサル の山	申山		輪院	1	中八は「それぞれ座あり」がすわりよいのでは？
4	春爛漫老いを話題の弁天堂	きみ女		恵寿	1	お年寄りの談笑が聞こえるような。
5	放心のひとりの時間蝶と舞う	みほ女	輪院	明陽	4	減多に一人にはなれない事情もあるのです。
6	春眠や乗り過ぎしたる駅幾つ	双掌		きみ女	1	これが終電だったらおおごとですね。
7	チンパンジーごめんねのキス春笑ふ	井静		みほ女	1	いささか理解に苦しむ光景。
8	水鳥の分けゆく航路水の春	明陽			0	下五には「花筏」が最適と
9	番にて鳥もぐりたる春の池	恵寿			0	平板にすぎるか
10	春眠や夢とうつつの雲に乗り	きみ女	双掌		3	「夢とうつつの雲に乗る」。いかにも春眠らしい表現。
11	爽涼や杜のドームに二輪草	輪院			0	「爽涼」は初秋の季語。さすがに四月に使うのはX。
12	緑陰に書を読む彼氏駆け寄る娘	荒人			0	まさに「囁目」と思われる一句。
13	惜春と句帳に記して歩を進む	双掌			0	作者は自信のある句だったが…。
14	高齢者集ふ吟行花は葉に	申山			0	他人から「高齢者」呼ばわりされるのは嬉しくないようで
15	新緑の香り楽しむ深呼吸	恵寿			0	俳句的工夫が望ましい。
16	しゃくなげの残花小町の如くなり	きみ女		井静	1	「花の色は移ろひにけりな…」のあの小町
17	囀りのライブに和する風の声	明陽		申山	1	「囀りに和する」で足るのでは
18	唐三春春暁春望春の宵	井静		双掌	1	漢詩風の響きが奥床しい。
19	一度醒め夢の続きに行く春眠	荒人		みほ女・申山	2	春眠なのか「二度寝」なのか？
20	葉桜を映す湖面の波止まず	双掌	明陽	輪院	4	「波止まず」には一工夫ありたし。
21	春眠や生返事には生あくび	みほ女	きみ女・恵寿	荒人	7	この句を読み返していると、眠気が兆しますねえ。」
22	薫る風湖風浴びる瘡の王	輪院		恵寿	1	「瘡の王」を知らないと状況捉えがたい。
23	遠足の帽子赤白手をつなぎ	申山	荒人・みほ女	明陽・きみ女	8	この可愛い句が「あの」申山さんの作とは!?
24	譲られし席に春日のぬき窓	荒人		双掌	1	春日・温きは季重なり「席に坐すれば窓温し」としたら。
25	春疾風苦難が襲ふ基地の街	井静		荒人	1	「基地の街」はいささか唐突。
26	井泉亭新緑天つき花地をはう	輪院	井静		3	レストランで休息中に一句仕上げるとはさすが。
27	ぶらんこや空に身を投げ悩み投げ	みほ女	申山	井静	4	ブランコにはそんな感覚を与えてくれますね。

【天賞】 佐々みほ女 15点
【春眠や生返事には生あくび】 7点
【ぶらんこや空に身を投げ悩み投げ】 4点
【放心のひとりの時間蝶と舞う】 4点

【地賞】 笠原申山 9点
【遠足の帽子赤白手をつなぎ】 8点
【春昼寝それぞれ座のあるサル山】 1点

【人賞】 安倍きみ女 5点
【春眠や夢とうつつの雲に乗り】 3点
【春爛漫老いを話題の弁天堂】 1点
【しゃくなげの残花小町のごとくなり】 1点

【人賞】 黒柳双掌 5点
【葉桜を映す湖面の波止まず】 4点
【春眠や乗り過ぎしたる駅幾つ】 1点

【備考】

昨年秋いらい半年ぶりの吟行。場所は同じ井の頭公園でしたが、やはり、親しく顔を合わせての句会にはSkypeとはひと味もふた味も違うものがありますね。ただ、「囁目」を見たままの写生でなければと、教条的に固執するには及びません。必要なら、空想を働かせ、曇天を晴天に、葉桜を落花盛んに捉えるなどの工夫もどうぞ。

今回は、8/（土）午後2時～。Skype句会を実施します。

ご参考までに、徴収された会費から句会会場借料（¥5,313-）、「句集」作製材料費（ハンドドリル・表紙・太針・麻糸など）・作業料を差し引かせていただき、残る5万円を俳ソサエティ口座に預け入れ、残高は¥167,420-となっています。（2024-4-26 双掌記）